

一時保管エリアAAにおける20ftコンテナの 傾き・転倒の復旧状況



2021年5月25日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

2月13日の地震による被災状況（1）

1. 被災状況

瓦礫等一時保管エリアAAにおいて、20ftコンテナの一部が傾き・転倒

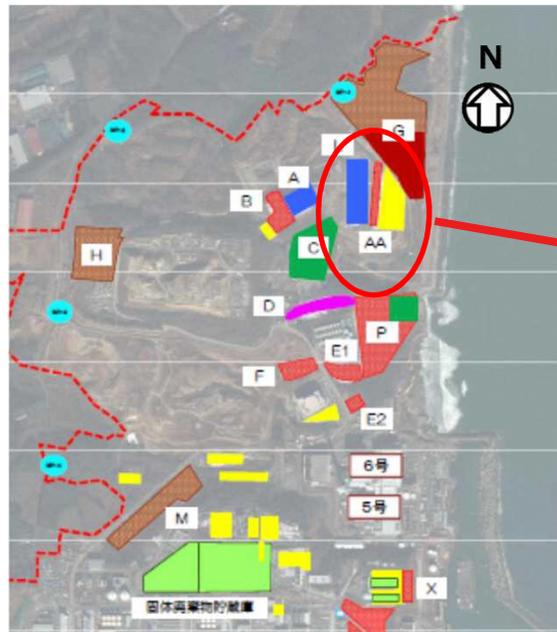
- 傾き：77基，転倒：12基（2箇所）
- コンクリート基礎面とコンテナの間に敷設しているH鋼が座屈し、コンテナが傾いたと推定
- 内容物は除染済みフランジタンク解体片であり、汚染やダストの飛散なし（2月16日測定）

内容物の表面汚染密度 $< 1.0 \text{Bq/cm}^3$

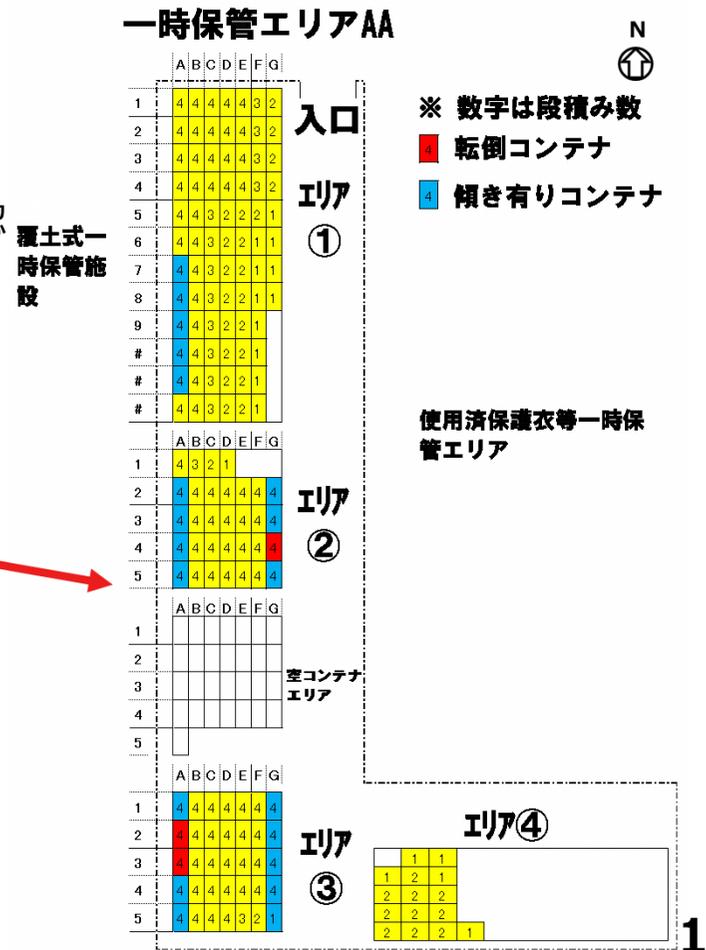
付近のダスト濃度 $< 1.7 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$

2. 現在の状況

20ftコンテナの一部が傾き・転倒の状況に変化の無いことを確認



瓦礫等一時保管エリア配置図



2月13日の地震による被災状況（2）

3. 被災状況（写真）

写真①



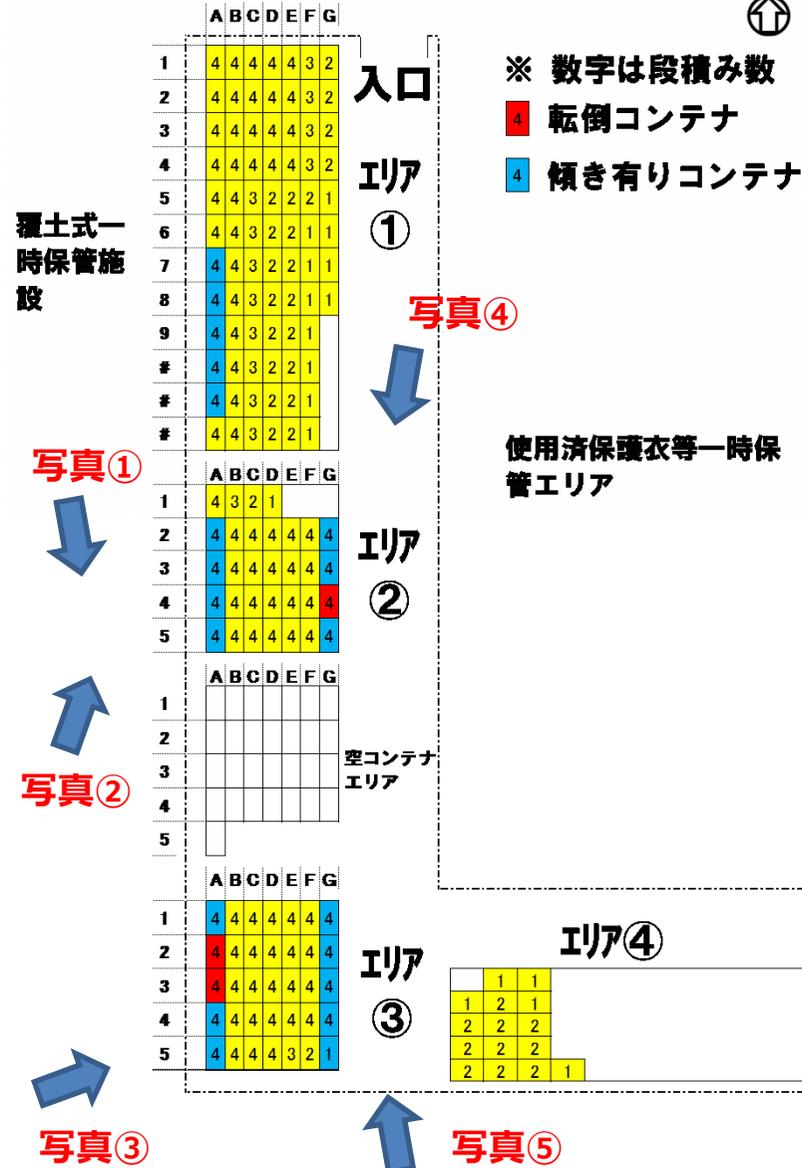
写真②



写真③



一時保管エリアAA



写真④



写真⑤

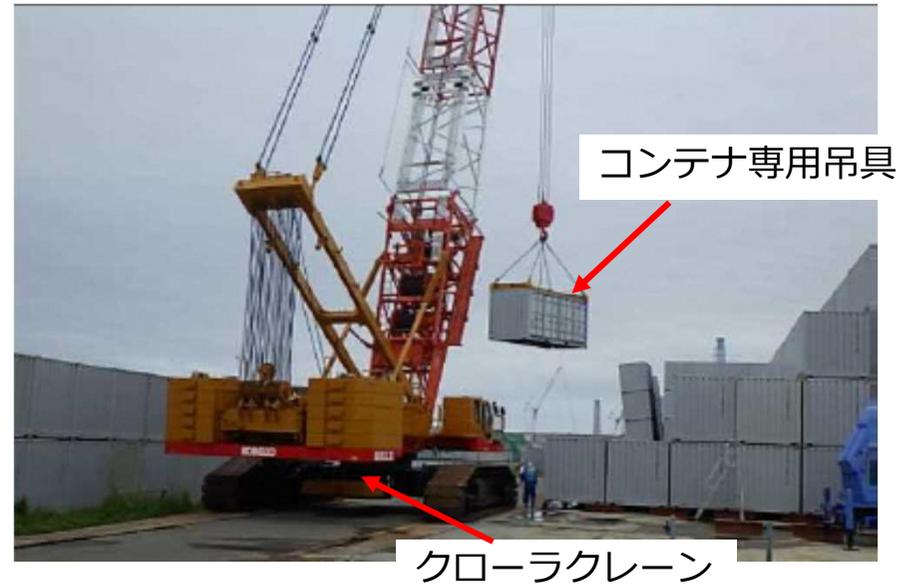


写真⑥



コンテナ全数移動作業の状況

- 5月11日より、20ftコンテナの移動作業を開始
- 約490基中、約150基移動完了（5月20日時点）



- 傾きコンテナの吊り上げ方法（今後実施）

